

令和3年度 北海道青年農業者会議 審査講評

■アグリメッセージ発表（7課題）

<各審査員からの意見（抜粋）>

1 発表内容・方法について（全体的に）

（1）良かった点

- ・ テーマに沿った発表でした。頼もしく感じました。
- ・ 発表者の皆さんに、この発表の場に立ったことに対して賛辞を送りたい。
- ・ 全体的にスピーチ構成はしっかりしており、水準の高さを感じる。
- ・ レベルの違いはあるが、よくまとまっている。
- ・ 自分の置かれている現在の環境や立場、あるいは経験した過去をしっかりと分析していた。その上で自分が今後どうしたいか明確な目標を掲げ、青年にふさわしい意見発表ばかりであった。
- ・ 発表内容は前向きで、聞いていて頼もしさを感じた。発表者全員、発表態度は良く、聞きやすい発表であった。
- ・ みんな発表態度が良かった。
- ・ とても聞きやすく、本人の主張をうまく伝えられたと思う。
- ・ 審査員として、一人の農業者として、すごくモチベーションの上がる良い発表ばかりでした。

（2）今後改善してほしい点

- ・ 書き言葉の原稿を棒読みしがちな部分が散見され、スピーチやプレゼン用の原稿、話し方の訓練ができれば良いと思う。
- ・ 動画による発表であり、仕方が無いことかもしれないが、聴衆に力強く訴えかける話し方（抑揚を意識した話し方など）を工夫してほしい。
- ・ 発表内容にいろいろな情報を詰め込みすぎて、内容の趣旨がぼやけてしまわないよう注意してほしい。
- ・ 未来の話をもう少し具体的にほしかった。
- ・ 反省の部分をどう活かしたのか詳しく聞きたかった。

2 最優秀賞の発表内容について

最優秀賞

「初山別に改革を！ ～夢をかなえるために～」

Rumoi_Action_Products（初山別村） 秋山 直人 さん

<各審査員からの意見（抜粋）>

（1）参考になる点・特徴点

- ・ 自分が住む地域農業・農村の現実をしっかりと受け止め、改善方策に夢をもって具体的な3つの目標を掲げ取り組んでいる姿勢。
- ・ 新規参入者の確保、法人就農の推進、今までにない農業を作るという目標に対して、実際に研修生を受け入れ、社員として就農するところまで実現したこと。
- ・ 4Hクラブ活動を我が家の経営や地域の課題解決と同期させて進めていること。
- ・ 地域農業の維持という夢に向け、熱意と行動をバランス良く説明し、自分の言葉で語りかけることが最もできていた。
- ・ 抑揚のある話し方、間合い、言葉遣いを工夫し、聴衆を引きつけていた。

- ・ 話の流れが一本化しており、解りやすく共感できた。
- ・ 法人設立時からしっかりとした目標を持ち、目標に向かい努力によって目標が実現され、さらなる高い目標、それも自分のみではなく、地域全体で持続的で魅力ある農業を展開していくことを決意し、すでに動き出している姿は素晴らしい。
- ・ ずば抜けて聞きやすく伝わった。
- ・ 過疎地ならではの課題に向けての取り組みが十分伝わった。
- ・ 村外の人を従業員として雇い、地域活性に向けての貢献が良い。

(2) 今後改善してほしい点

- ・ 今現在、夢に向けて具体的にどんな行動をとっているか、とろうとしているかを厚く語ってほしい。
- ・ 将来 150ha 作付けするに当たり、もう少し具体的な対処法を知りたかった。

■プロジェクト発表（16 課題）

園芸・特産作物部門（3 課題）

<各審査員からの意見（抜粋）>

1 発表内容・方法について（全体的に）

(1) 良かった点

- ・ 地域と密接した課題意識を持って取り組んでいることが良い。
- ・ 係数やグラフに落とし込んでいて分かりやすい。
- ・ 営農上の疑問や改善すべき事項に真摯に向き合い、計画的にプロジェクトに取り組んでいる。
- ・ 当初の目標が達成されており、今後の目標も明確で意欲が感じられる。

(2) 今後改善してほしい点

- ・ 発表時に原稿を見る回数が多いことが気になった。原稿を見なくても発表できるようにしてきてほしい。
- ・ 改善による経営経済的な変化や費用対効果、新規作物の導入による効果など経営的な視点での考察があれば良かった。
- ・ 発表者のワイプが資料に被っている課題がいくつかあった。
- ・ 発表の冒頭で発表者の所属だけではなく、氏名も言うようにした方がよいと感じた。

2 最優秀賞の発表内容について

最優秀賞

「トマトの肥培管理の見える化」

平取町 4H クラブ（平取町） 中村 康太郎 さん

<各審査員からの意見（抜粋）>

(1) 参考になる点・特徴点

- ・ 係数やグラフが分かりやすく、新規の人でもこの資料を参考に栽培ができるように思う。
- ・ 地域の基幹作物であるトマトの安定栽培と若い生産者の悩みに注目し、試験をすることによって後作の改善をすることができた点。
- ・ 作物や土壌のデータを取ることで状態を知り、共有して全体を改善されられることに気付く

ことができた点。

- ・ 若手農業者の疑問を解決するために、科学的な手順で「目安」を見いだした点。
- ・ 指導者の助言や各種知見などの確に受け入れ理論的にプロジェクトを進めた点。
- ・ PDCAに基づいたプロジェクト活動が実行されており、レベルの高い発表内容であると感じた。調査方法は生育診断手法を習得しており、調査結果や結果に基づいた栽培技術改善の内容もグラフ等で見やすく整理されていた。今後は生育結果を蓄積していくことで、地域全体の収量アップに寄与することを期待する一方で、調査方法に手間がかかることから、「簡便で時間がかからない記録方法」について関係者とともに検討できるとよいと感じた。

(2) 今後改善してほしい点

- ・ 今回は生育の方に特化していたが、今回の内容が経費や収量にどう影響するか分かれば、さらに良いと思う。
- ・ 実証事例に乏しいので、若手グループなどでN数を増やしてほしい。
- ・ 技術導入に向けた経営的な視点での考察があると参考になる。
- ・ 結論として「施肥量を改善できた」ことをあげているが、4月定植作型についても改めて検討してほしいことと、「トータルの施肥量を削減できた」「施肥にかかるコストが減少した」というところまで言及できれば経営にも活かされるので検討いただければと思う。

土地利用型作物部門（7課題）

<各審査員からの意見（抜粋）>

1 発表内容・方法について（全体的に）

(1) 良かった点

- ・ 多くの仲間達とともに将来がもっと良くなると信じ、地域や個々のレベルが高まる方法を的確にまとめていた。
- ・ 異常気象の中でのデータ収集は大変困難で苦労したと思うが、冷静に分析されており、次へとつながる内容になっていた。
- ・ どの発表もそれぞれの地域での基幹作物の課題解決に向けてしっかりとしたデータ集積、分析ができていたと思う。
- ・ 複数年にわたる継続した取組であったことや、経済評価も行い結果を分析していたことが良かった。
- ・ 自分たちで実証した結果をグループ内だけにとどめておかず、町内外に発信していこうという姿勢が見られた。
- ・ 各発表共に、課題の選定理由、目的がはっきりしており、しっかりと取り組んでいることがよく分かった。グラフや写真、SNS風のまとめ方等、視覚的に理解を進める工夫が随所に見られた。
- ・ どの課題も生産性を向上させるためにしっかりと取り組まれていた。今後も皆さんの経営、地域の農業生産がレベルアップしていくために、活動を継続してほしいと思う。

(2) 今後改善してほしい点

- ・ さらに厚みのある内容にするためには、地元の先輩方の経験などを中身に取り入れても良いのではと思う。例えば「なぜこの土地にこの作物が栽培されているのか」に触れていくと視野

が広がっていくと思う。

- ・ 周囲の反応や取組が地域に広がる成果も付記していただくとより素晴らしい発表になるのではと思う。
- ・ 発表の態度も皆さん堂々としていたが、原稿に目を落とすような態度も少し見られ、もったいないと思った。
- ・ 取り組んだ課題も1年目のものから5年目のものまで様々で、満足な結果が得られなかった課題もあるかと思う。地域への波及については、皆さん意識して活動していることと思う。発表の中で、これからの地域への波及について、もう少し意識して触れていただきたいと思う。
- ・ 今後も動画で発表する機会は続くと思う。撮影する際の話しぶりはもちろん、背景についてもなるべく無地の壁にするなど気を付け、視聴者が発表に集中できるようにしてほしい。

2 最優秀賞の発表内容について

最優秀賞

「春よ恋に恋してる ～は種量・追肥による収量への影響～」

大雪山麓倶楽部（美瑛町） 河村 将寿 さん

<各審査員からの意見（抜粋）>

（1）参考になる点・特徴点

- ・ 課題の選定理由、目的がはっきりしており、しっかりと取り組んでいることがよく分かった。発表態度もハキハキと正面を向いて語りかけるように話し、好印象だった。SNS風のまとめ方も今風で面白く、視覚的に理解ができるものだった。

（2）今後改善してほしい点

- ・ 今後のプロジェクトにおいては、地域の役に立つ技術となるよう、波及を目指して活動するとともに、その経過についても発表内容に加えてほしい。

畜産経営部門（3課題）

<各審査員からの意見（抜粋）>

1 発表内容・方法について（全体的に）

（1）良かった点

- ・ 営農上の疑問や改善すべき事項に真摯に向き合いプロジェクトに取り組んでいる。
- ・ クラブ内での協議や関係機関と打ち合わせながら計画的にプロジェクトが進められた。
- ・ 複数年で取り組まれたプロジェクトではPDCAをしっかりと意識し、最終年で大きな成果を得ている。

（2）今後改善してほしい点

- ・ 内容は良いと思うが、発表時に原稿を見ている場面が多く、今後は原稿を見なくても発表できるようにしてほしい。
- ・ 畜産は専門用語が多く、他の業種の人には理解しづらいので、その点も考慮すべきだと思う。
- ・ 活動としてのレベルは高かったと思う。
- ・ スライド資料などをもうひと工夫すると活動に対する理解が深まると感じる。

2 最優秀賞の発表内容について

最優秀賞

「河川敷草地の植生改善に取り組みました！ ～ライ麦は種による MFT 防除～」
ヤングファーマーズ講座（池田町） 長島 正典 さん

<各審査員からの意見（抜粋）>

（1）参考になる点・特徴点

- ・ 3か年かけて調査して、係数やグラフを使い、収益を出している点が良い。
- ・ 自分や地元の問題である草地の改善に取り組み、関係機関と共に3年間の計画を立てて行った。現在の改善方法と違う方法に取り組み、コスト試算している。
- ・ 我が家の経営改善に直結するプロジェクトであり、自身だけではなく、関係機関も巻き込んで取り組んだ点。
- ・ 植生改善の取組を経済的視点で評価し、継続の理由を明確にしている点。他に参考となる検証を行っている点。
- ・ 自家の課題解決が地域全体にも普及できる内容で、レベルが高い発表内容と感じた。特にMFTの問題点の説明は非常にわかりやすかった。また、3年間の中で、計画に基づいて活動が行われており、進行管理も十分にできていた。関係者とともに課題に取り組むことで、今後も人のつながりを活かして経営されていくことを期待する。
- ・ 発表の方法（話し方やスピード）は聞きやすく、発表資料もわかりやすい。

（2）今後改善してほしい点

- ・ 肉牛経営なので牧草収量・牧草栄養価の向上が経営改善につながるよう今後の取組に期待する。
- ・ 発表の中で、「栄養価を高めるために意識して収穫時期を早めた」というコメントあったが、「河川敷の収穫を早めにした分、収穫作業が分散し、河川敷以外の草地も適期に収穫できた」ということがあれば、コメントとして付け足せるとよいと思った。
- ・ ライ麦活用法と除草剤活用法を示した表について、コメントした内容をスライドにも記載した方が理解しやすいと感じた。

地域活動部門（3課題）

<各審査員からの意見（抜粋）>

1 発表内容・方法について（全体的に）

（1）良かった点

- ・ 地域を良くしていきたいということが分かりやすく表現できていた。資料も分かりやすくまとめてあり良かった。
- ・ 堂々とした発表態度だった。
- ・ 発表に向けて練習をずいぶん重ねたのだろうということが伝わってきた。とても聞きやすかった。
- ・ 現状把握からの課題の分析、そして、計画・検証したという発表の流れがとてもわかりやすかった。
- ・ 各発表共に、課題の選定理由、目的がはっきりしており、しっかりと取り組んでいることが

よく分かった。グラフや写真、SNS風のまとめ方等、視覚的に理解を進める工夫が随所に見られた。また、身振り手振りを交え、訴えかけるような発表もあり、非常にレベルの高いものだった。

- ・ 地域活動の発表はどの課題も素晴らしく、甲乙がつけがたいものだった。今後も活動を継続し、地域を元気にしていただくようお願いしたい。

(2) 今後改善してほしい点

- ・ グループメンバーが何人で活動しているかを加えてみても良かったと思う。
- ・ コミュニケーションが重要と分析していたが、より理解を深めるために具体的な内容や手法について皆さんで考えていることが発表にあるとより理解が進むと思う。
- ・ 発表の態度も皆さん堂々としていたが、原稿に目を落とすような態度も少し見られ、もったいないと思った。

2 最優秀賞の発表内容について

最優秀賞

「僕たちが経営者になる話をしよう」

士幌町畑作農業青年ゼミナール（士幌町） 香西 瑠理子 さん

<各審査員からの意見（抜粋）>

(1) 参考になる点・特徴点

- ・ 発表も聞きやすく、視点を次へとつなげる普段身近な問題点を解決に向けて適切に取り組みをまとめていたところが良かった。地元への投げかけばかりではなく、目にする人が考える機会を与えてもらえる発表だった。
- ・ 一農業者として、耳の痛い発表だった。私自身心当たりがある課題だったので、良い勉強の機会となった。この取り組みは士幌町の一地域にとどまらず、どこにでもある課題であり、感情が介在する以上恒久的に続く課題と思うので、波及効果は高いと感じた。
- ・ グループで取り組み、結果を共有して次年度の計画まで結びつけていたこと。
- ・ みなで考え、行動に移していること。本年はコロナ禍の中という制限がある中でずいぶん工夫されていたものと思う。
- ・ 課題の選定理由、目的がはっきりしており、しっかりと取り組んでいることがよく分かった。発表態度は身振り手振りを交え、訴えかけるように話し、特に素晴らしかった。手持ちの資料もきれいなパンフレットのような仕上がりで、工夫が感じられた。

(2) 今後改善してほしい点

- ・ 参考資料はよくできているが、もう少し一目で分かるように工夫をした方がいいと思う。
- ・ 今回の発表後の変化を分析し、それからの提案など継続した活動をお願いしたい。
- ・ 事業の継承がスムーズにできたか見届けてほしい。
- ・ 地域活動としての取組で、町内の女性とのかかわりについて触れられているが、少し物足りなさを感じた。今後の取組の予定を含め、ゼミナール生だけでなく、地域の後継者育成について、どう地域とかわかっていくか、考えを紹介してほしい。